

文部科学省事業 がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
—高度がん医療開発を先導する専門家の養成—

山梨大学 市民公開講座

～のどのがんに対する最新治療と患者リハビリや 社会復帰に向けた取り組みについて～

平成27年

6月6日(土) 13:30～16:00

どなたでも
ご参加
頂けます

参加費
無料

山梨大学医学部 臨床講義棟大講義室(山梨県中央市下河東1110)

のどは発声や食事に関係した器官である。のどにがんができると声がかすれたり食事がむせたりする。一方で、のどのがんの治療においてはその機能が障害されたり無くなったりすることも好ましいことではない。しかしながら、最近では化学放射線療法の進歩により、手術を避けのどを残すことが可能となった進行がん症例もでてきた。また、手術により声を失っても、音声再建により声を取り戻すこともできるようになってきた。そして、何よりものどのがんは早期発見が重要である。早期にがんを見つけ、のどの粘膜切除だけで根治できる症例も増えてきている。公開講座では山梨大学におけるこれらの取り組みについてわかりやすく紹介します。

開会のあいさつ 13:30-13:40

座長: 桐戸敬太先生(山梨大学血液・腫瘍内科 教授)

講演1 13:40-14:20

「のどのがんに対する治療～抗がん剤治療を中心に～」

森山元大先生(山梨大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 助教)

講演2 14:20-15:00

「手術で声を取り戻す！」

増山敬祐先生(山梨大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 教授)

(休憩10分)

講演3 15:10-15:50

「咽頭の表在癌に対する内視鏡的粘膜切除術」

大高雅彦先生(山梨県厚生連健康管理センター 副所長)

前・山梨大学消化器内科 講師)

閉会のあいさつ 15:50-16:00

座長: 桐戸敬太先生(山梨大学血液・腫瘍内科 教授)

問い合わせ: 山梨大学医学部 耳鼻咽喉科 ☎055-273-6769
会場案内図は裏面をご覧ください。

